



様式第10号(第14条関係)

令和8年6月30日

令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所 鳥取県米子市淀江町中西尾210番地2
団体名 森田救助犬訓練舎
代表者職・氏名代表 森 田 康 博

令和7年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 寄附金受入額 令和7年度合計 金 40,000 円
- 2 添付書類
 - (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
 - (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>
 - (3) その他参考資料

寄附金活用実績報告書

事業名	令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附受け事業
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や 人数、実施方法等を 具体的に記入。	① 森田救助犬チーム員が急遽9名から4名に減少し、新たに1名を増員したことによる組織力の低下が懸念され、積上げた訓練内容を基本基礎訓練へと変更する事象となり、個別指導重視の訓練に移行した。令和7年度救助犬チーム育成・練成訓練実施計画を7月頃から修正し、出動準備訓練、ヘルパー訓練を重視した。 ② セラピー犬候補の犬を抽出的に訓練実施（3頭が逝去） ③ 小学校校門付近でセラピー犬を1回／月あいさつ運動時に参列させ習熟させた。 ④ しつけ指導対象犬や飼い主及び一時的保管を目的に預託される犬や飼い主に対する犬の社会化適応に必要なノウハウを教授し、将来的にセラピー効果の高い犬に成長できるよう普及説明実施 ⑤ 鳥取県西部どうぶつ愛護センター「オーリーブ」への技術援助及び補修個所の修復作業、除草協力、捕獲事業等を援助
事業実施の 成果・効果 （見込み）	① 森田救助犬チームの構成員が大きく変化したことによる年度訓練実施計画の修正を行いつつ、基本的基礎的事項を繰り返し行いつつ、出動準備訓練、ヘルパー訓練を重視した訓練に移行した。 ② セラピー犬候補犬が3頭逝去し、新たに4頭が加わった。 ③ 小学校校門付近であいさつ運動時に参列させ人と犬のコンビネーションを育成しつつ広報できた。 ④ 新顔の若い犬は、落ち着きがなく飼い主も不安な表情を浮かべ相談に応じますが、訓練を重ねるうちに、持ち犬が社会貢献できそうだと気づく傾向にある。 ⑤ 動物愛護精神を協同連携して保つことができた。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3(第14条関係)

令和7年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額(円)	内 訳
支援寄附金	40,000円	ふるさと納税
その他の寄附金	0円	なし
令和6年度から繰越金	113,350円	繰越金
貯金利息	12円	
収 入 計	153,362円	

【支 出】

区 分	金額 (円)	内 訳
旅費・交通費	14,350円	普通車3台・軽自動車1台
人件費	50,000円	チーム員支給(5名分)
消耗品費	23,850円	救急医療品セット, テント
印刷・製本費	1,230円	資料作成
出動準備費	63,932円	緊急時食糧備蓄, 燃料等
支 出 計	153,362円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。